

目次

WireGuard VPN 設定

*Firewall*の設定

*WireGuard*の設定

本装置の設定

対向側(Peer)の設定

ステータスの確認

1

1

3

3

5

7

WireGuard VPN 設定

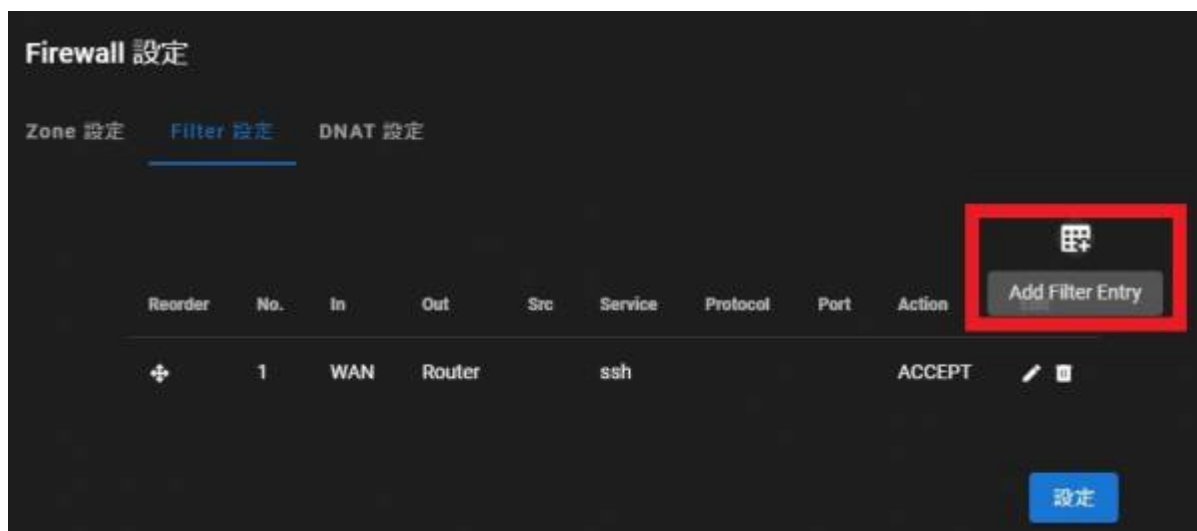
Firewallの設定

WireGuardで使用するポート番号を許可しておきます。

Firewall 設定をクリックします



“Add Filter Entry” をクリックし、ルールを追加します。



WireGuard で Listen するポート番号を許可する設定を入力し、“**SAVE**” ボタンをクリックします。

Filter 追加

In Zone: **WAN** | Out Zone: **Router**

Source Address: _____

Service: _____

Protocol: **UDP** | Port Number: **51821**

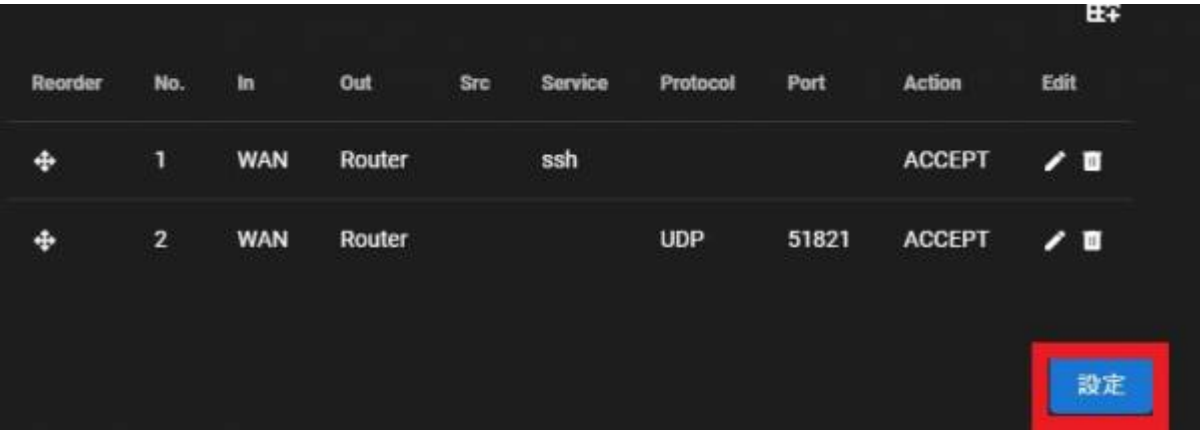
ACTION: **ACCEPT**

CANCEL **SAVE**

設定例

項目	設定値
In Zone	WAN
Out Zone	Router
Protocol	UDP
Port Number	51821
Action	ACCEPT

設定 ボタンをクリックします。

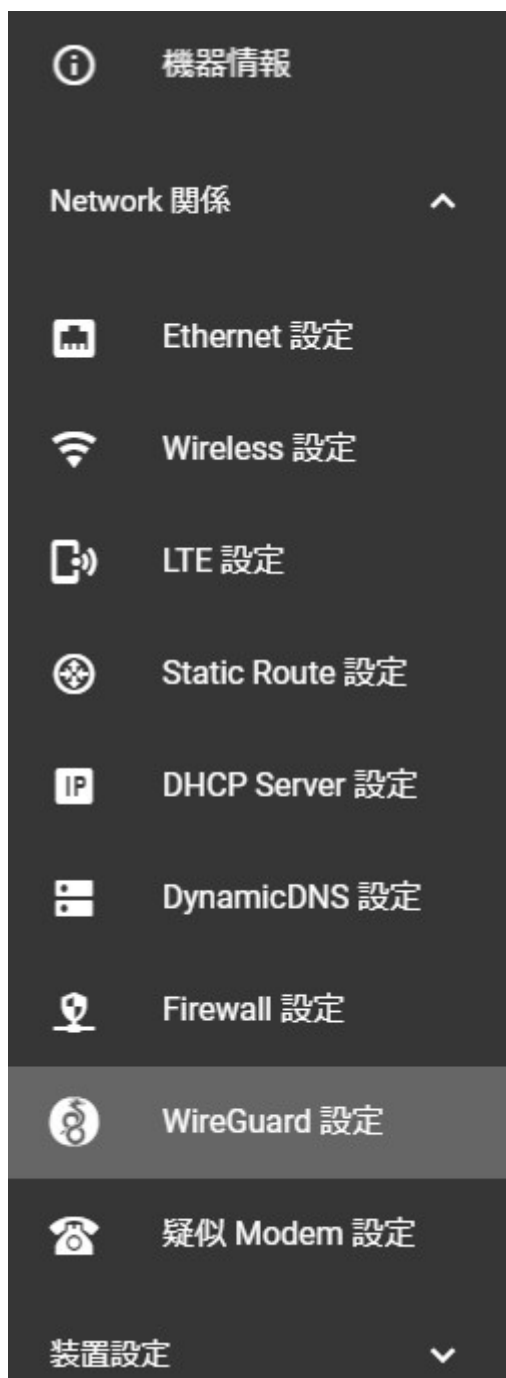


WireGuardの設定

WireGuardの設定を行います。

本装置の設定

左側のメニューより「WireGuard 設定」をクリックします。



本装置側の設定を行います。



本装置がサーバ側の場合

項目	内容	値
WireGuard 接続有効	WireGuard を使用するかどうかを選択します	<input type="checkbox"/>
Tunnel IP Address/Prefix	VPN 用の IP アドレスです。WireGuard で構成する VPN にて、本装置が使用する任意のアドレスを設定します	例: 10.100.0.10/32
Listen Port	WireGuard が Listen するポート番号を設定します	<input type="text"/>
WireGuard PublicKey	本装置で生成した公開鍵が表示されています	<input type="text"/>

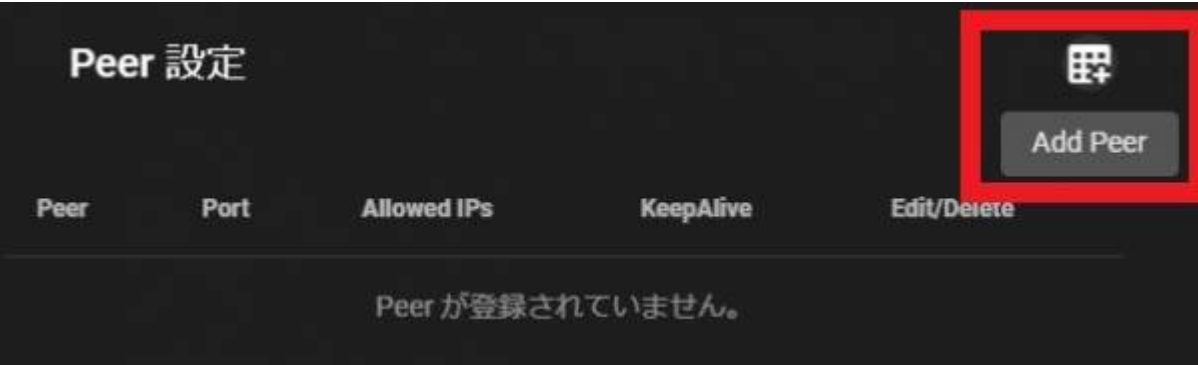
本装置がクライアント側の場合

項目	内容	値
WireGuard 接続有効	WireGuard を使用するかどうかを選択します	<input type="checkbox"/>
Tunnel IP Address/Prefix	VPN 用の IP アドレスです。WireGuard で構成する VPN にて、本装置が使用する任意のアドレスを設定します	例: 10.100.0.10/32
Listen Port	空欄にします	<input type="text"/>
WireGuard PublicKey	本装置で生成した公開鍵が表示されています	<input type="text"/>

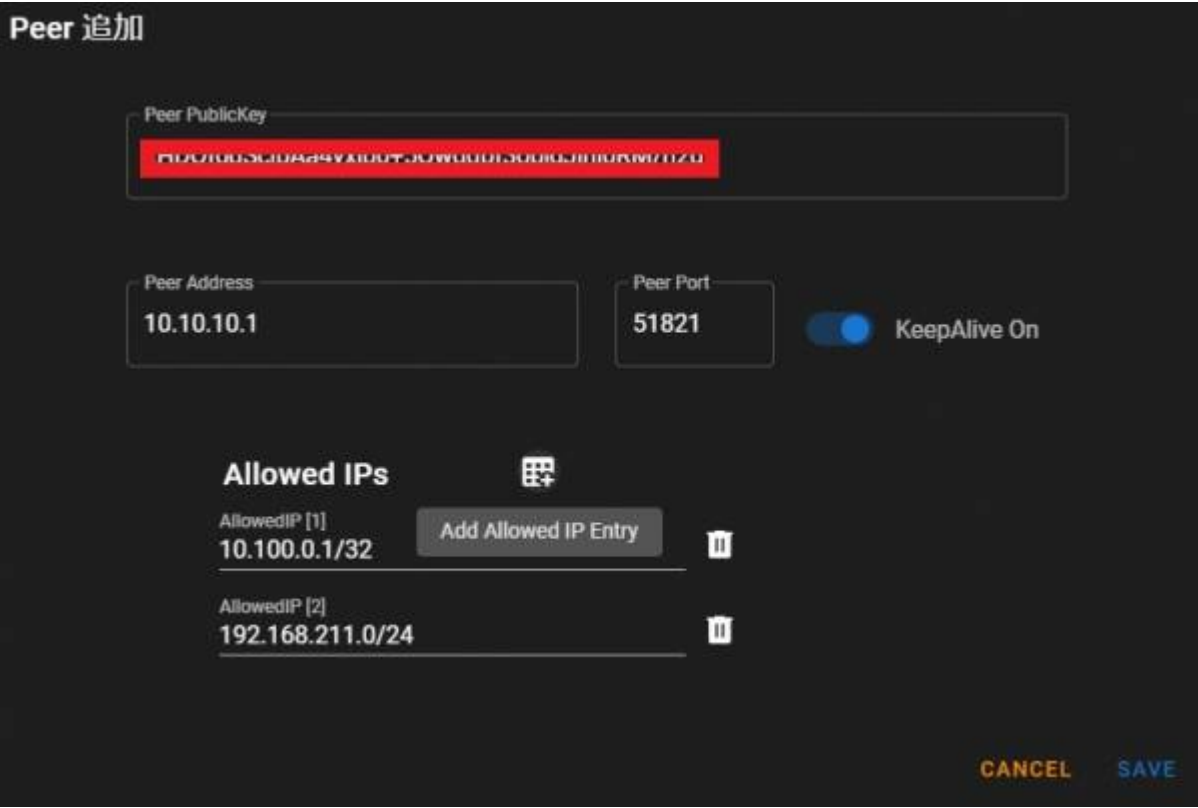
対向側(Peer)の設定

対向側の設定を行います。

Add Peer をクリックします。



対向側との接続に必要な情報を設定します。(全ての設定が終わったら「SAVE」をクリックします)



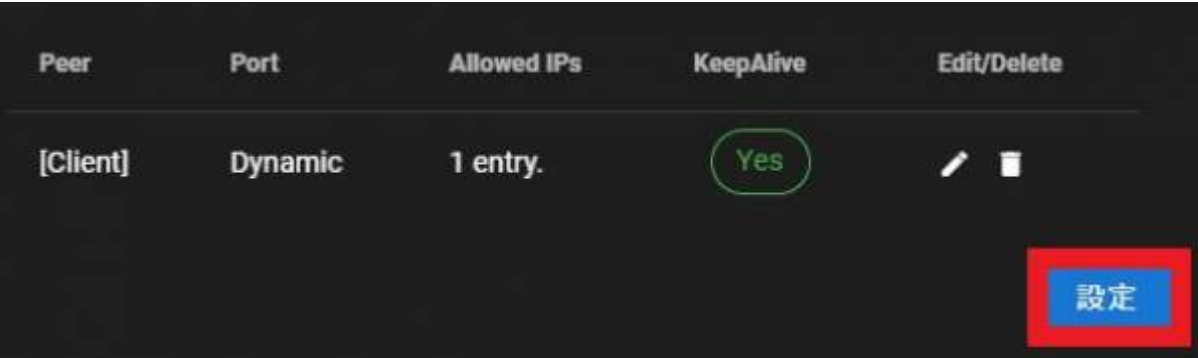
本装置がサーバ側の場合

項目	内容	値
Peer PublicKey	対向のクライアント側で生成した公開鍵を設定します	<input type="text"/>
Peer Address	空欄に設定します	<input type="text"/>
Peer Port	空欄に設定します	<input type="text"/>
KeepAlive On	NAT を保持するための KeepAlive 送信を行うかどうかを選択します。サーバ側の場合は無効	<input type="checkbox"/>
Allowed IPs	本装置への接続を許可する、対向側端末の VPN 用の IP アドレスを設定します。 ²⁾	例：1010001/32

本装置がクライアント側の場合

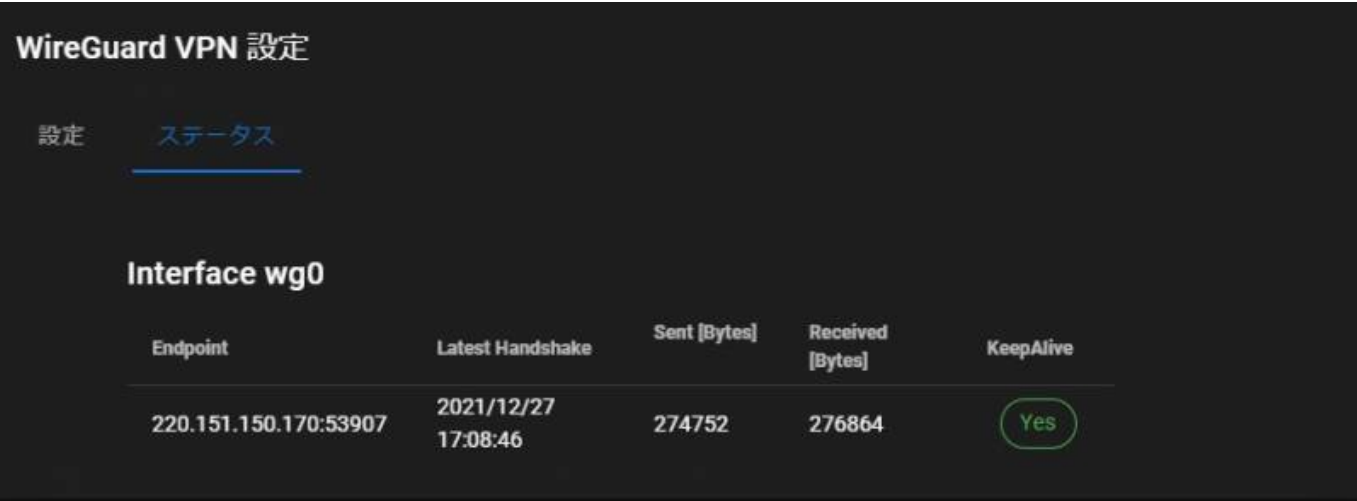
項目	内容	値
Peer PublicKey	対向のサーバ側で生成した公開鍵を設定します	<input type="text"/>
Peer Address	対向のサーバ側の WAN 側の IP アドレスを設定します	例：10.10.10.1
Peer Port	対向のサーバ側のWireGuardが、Listen するポート番号を設定します。	<input type="text"/>
KeepAlive On	NAT を保持するための KeepAlive 送信を行うかどうかを選択します。本装置が NAT 配下にある場合は有効に選択します。	<input type="checkbox"/>
Allowed IPs	WireGuard 経由で通信するネットワークアドレスを設定します。 ³⁾	例：1010001/32 192.168.211.0/24

設定 ボタンをクリックします。



ステータスの確認

ステータス をクリックし、接続状況を確認します。



項目	説明
Endpoint	対向側の グローバルIPアドレス：ポート番号
Latest Handshake	最後に応答があった時間

項目	説明
Sent [Bytes]	送信したパケット量 [Bytes]
Received [Bytes]	受信したパケット量 [Bytes]
KeepAlive	本装置の KeepAlive 設定が有効かどうか ⁴⁾

1)

Client を複数接続することを想定

2)

“Add Allowed Entry” をクリックし追加します

3)

“Add Allowed Entry” をクリックし複数選択可能です。

4)

YES か No が表示されます

From:

<https://centurysys.jp/> - **MA-X/MA-S/MA-E/IP-K Developers' Wiki**

Permanent link:

https://centurysys.jp/doku.php?id=mas1xx_ope:use_webui:wireguard_vpn_setting:start

Last update: **2022/01/07 19:29**